厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
分担研究報告書

希少難治性てんかんのレジストリ構築による総合的研究

研究分担者　渡辺　英寿　自治医科大学　教授

研究要旨
　難治性てんかんの自験例につき症例を逐次登録する事業に参加する。倫理委員会の承認を得るのに時間を費やしたため、登録事業はようやく準備ができた段階であり、今後の登録を期待している。

A．研究目的

　難治性てんかんの自験例につき症例を逐次登録する事業に参加する。

B．研究方法

　最初のステップとして本学内の倫理審査委員会から臨床研究としての承認を得る。対象疾患は過去3年から本研究を開始後の難治性の側頭葉てんかんで海馬摘出術を施行した症例とする。

（倫理面への配慮）
症例登録のために倫理委員会の審査を得た後、患者からの書面での承諾を得てから登録を行う。

C．研究結果

　本年は倫理委員会の承認を得るために多くの時間を費やし、去る2月に承認を得たところである。過去の症例に関しては、順次外来で承諾を得つつ登録を開始している。

D．考察

　全国的な症例登録に関しては外科系の全例登録研究が先行している。平成23年より、日本外科学会、日本消化器外科学会などの各種臨床学会が中心となって、『一般社団法人National Clinical Database』（以下、NCD）を設立し、全国の手術症例を登録するもので平成２３年に発足している。目的は、医療の現状を把握することによって、医療の質の改善に向けた検討を行うことでてんかんにおける本研究と目的を同一としている。私の所属する脳神経外科学会でも平成２６年から登録に参加している。
　さててんかんの本研究に関しては、過去3年で当施設では10例の側頭葉てんかんの切除手術を行っている。今後は例年とペースであれば年間に3-4例の症例が登録可能と考えている。

E．結論

　登録事業はようやく準備ができた段階であり、今後の登録を期待している。

G．研究発表

論文発表

1．小黒恵司,横田英典,檀一平太,渡辺英寿:倍密度光トポグラフィーへの挑戦.認知神経科学14(1):27-34,2012.
2．渡辺英寿:NIRS検査によるてんかん焦点の診断.シリーズアクチュアル脳神経疾患の

臨床てんかんテキストNew Version:149-157,2012.

3. 小黒恵司，横田英典，伊沢彩乃，檀一平太，渡辺英寿,光トポグラフィーの基礎と応用 倍密度光トポグラフィーへの挑戦，認知神経科学,13巻2号 Page169,2011

学会発表

1. 小黒恵司,横田英典,水谷勉,佐野俊文,リゼキエドミ エディソン,檀一平太,渡辺英寿:光トポグラフィーのてんかん焦点診断への応用(シンポジウム).第15回日本ヒト脳機能マッピング学会,東京,2013年7月5日.
2. 小黒恵司,横田英典,水谷勉,渡辺英寿:栃木県内てんかん診療の実際とネットワーク構築-エピネット栃木.紹介患者動向.1,2次診察施設アンケート-.第47回日本てんかん学会学術集会,北九州,2013年10月11日.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得　なし
2. 実用新案登録　なし